

令和7年度 県央支部研修会 アンケート集計

〈日時〉 2025年12月15日(土)13:30～15:30
〈場所〉 ながさき看護センター4階大会議室
〈テーマ〉 看護で伸ばせる命がある (Zoomにて講演)
〈講師〉 株式会社ナースエナジー 代表取締役 亀井紗織 先生
〈参加者〉 60名(スタッフ11名含)

I. フェイスシート

1. 職種

保健師	助産師	看護師	准看護師
0	0	32	1

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
5	1	8	14	5

II. 本日の研修会について

1. 研修会全体の満足度について

満足	やや満足	やや不満	不満
25	8	0	0

2. 今回の講演内容はいかがでしたか？

満足	やや満足	やや不満	不満
27	6		0

3. 講演の時間について

満足	やや満足	やや不満	不満
23	10		0

4. 意見交換の時間について

満足	やや満足	やや不満	不満
23	10		0

5. 今回の研修を今後に活かせるか

とても活かせる	活かせる	どちらとも言えない	活かせない
23	9	1	0

6. 今回の研修会で良かったこと、感じたことを記載下さい。

- ・こんな看護がしたいと強く思えた
- ・看護師として振り返らなければならないことや学びが沢山ありました
- ・看護の本質を掘り起こされ、看護は無限だと思いました
- ・エナジーサイクルを回す必要性を強く感じました。早速活用します
- ・看護の良さを再認識でき、頑張っていこうというエネルギーが得られた
- ・今回の講演でやるべきことが明確になった
- ・講演の一言一言がすべて心に刺った
- ・在宅看護実習の指導をしており、学生に伝える言葉に科学的な看護とヒューマニズム、倫理観を柱に話したい
- ・急性期病棟で毎日ジレンマを抱えて仕事をしていますが、看護の本質実践をもう一度やろうと自分を奮い立たせることができました
- ・自分の日々悩んでいることの解決ヒントが講演の中に沢山ありました
- ・エナジーサイクルを回す正しい看護を意識することの重要性を知れた。
- ・自分がやってきたことは、看護なのか？と考えさせられた
- ・毎日業務に追われている中で、自分の看護を見つめ直す機会となった。仕事をこなすだけでなく患者さんの生活を考えてケアしていく必要を感じた
- ・身体拘束廃止に力を入れたい
- ・看護の力で人は変わることを確信しました
- ・今は、すぐに訴えられる社会のため、何も起こらないように患者さんに何もさせない環境になっていると反省しました
- ・内容が実践に基づいたものであり、リアルで、理論に基づき実践されたもので、利用者の喜び、心地よい笑顔となっている事実。まだ看護の手で楽しく生きながらえる命が沢山あることが知りました
- ・看護を管理者自ら真剣にスタッフと考える良い機会なのに、看護管理者の参加が少ないので、勿体ないと思います
- ・理想と現実の溝はなかなか埋まりませんが少しでも近づけるよう行動していきます

7. 今後、このような「看護の本質」等の研修会について開催を希望されますか？

希望する	希望しない
33	0

